

中学校第二学年 国語 調査票

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

注意 1 はじめに放送を聞いて答える問題があります。必須なときは、左の(ヌモ欄)にヌモをとりながら聞いてもかまいません。  
2 放送で指示があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。

1 (聞き取り問題)

【資料1】新聞記事

**ニホンカモシカ、図書館に乱入**

警察官・村職員と一時間の格闘

3月22日午後2時ごろ、利用者が避難する。村内では、ニホンカモシカが図書館に侵入し、約一時間後に捕獲された。カモシカは、野生動物による農作物の被害が多発しており、深刻な問題となっている。

調査時にはここに写真が入る

【資料2】佐藤さんの感想

「スリチナの最初の記事に新聞記事についての詳しい説明があれはよいと思いました。そこを改題すればよりよくなると思います。」

(ヌモ欄)

中国-1

2 次の一〜三に答えなさい。

一 次の(1)〜(3)の一語の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 翻刻度の向( )問題
- (2) 花を晒( )える。
- (3) 商品を紙( )包( )する。

二 次の(1)〜(3)の一語のカタカナの部分( )を( )で書き改めなさい。

- (1) 試合を( )オ( )シユウロクする。
- (2) 信( )関係( )なく。
- (3) 日本語を( )談( )が( )ンサイする。

三 次の(1)〜(2)を( )から選んで使われている漢字を一つ抜き出し、正しい漢字に書き改めなさい。

- (1) 球技大会に向けて、渡段の練習の成果を精一杯発揮し、絶体に優勝すると優勝一丸となつて取り組んだ。
- (2) 秋の地区大会では、コートをはじめ多くの人の力を貸りて、強豪相手に勝利を取めるという快挙を挙げた。

3 次の文章を読んで、一〜三に答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

Blank area for student response to question 2.

中国-2

一 「なむら」の部分( )を現代仮名遣いに直しなさい。

- 二 「かき葉つやうこうせにけり」を( )と( )の区切り方とし、適切なものを次のア〜エから一〇選べ。その語彙を註きなさい。
- ア かき葉つやうはう / せはひり
- イ かき葉つやうに / うせにけり
- ウ かき葉つやう / とうせはひり
- エ かき葉つや / うにせはひり

三 次の【古文】中「まるれば」についての鈴木さんと佐藤さんの会話を、会話から【現代語訳】中の( )に入る三語を考え、三語で書きなさい。

鈴木：「**まるれば**」はこういう意味だろ。

佐藤：「**まるる**」は現代でも使うから、「**身を守る**」という意味になるのかな。

鈴木：【現代語訳】の( )の前後を考えると「**身を守る**」という意味ではなさそうだぞ。

佐藤：かく( )に「かく隠( )てさ( )る」とあるから、( )という意味になると思うぞ。

- 4 田中さんは 中学校の授業で学習した『平家物語』について、詳しく調べてみようと思い、図書館に行きました。しかし、どこにも『平家物語』についての図書が置かれてあるのかわからないため、図書館の検索システムを利用してすることにしました。【資料1】「資料2」を見て、1～3に答えなさい。

【資料1】図書館検索システムの説明と検索結果

**★★ 図書館検索システムの利用について ★★** 青い森図書館

図書館検索システムを利用すると、図書館にある図書について、図書の名前や著者、置かれている場所などが分かります。  
 図書は背表紙のシールにある番号順に、書架に並べられています。  
 ①利用が終わったら、②取理係の面に③戻していただきます。

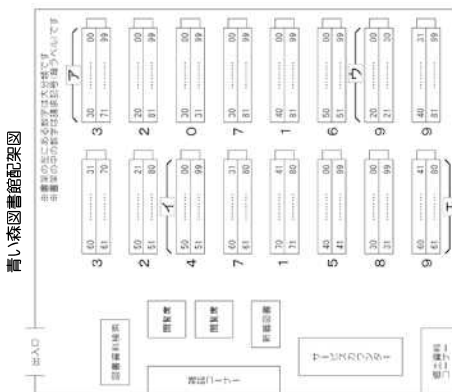
〈利用情報サイトの使い方〉  
 ○書名・………図書の名称  
 ○ページ数・………図書のページ数  
 ○入分種・………図書の入まの分類  
 ○資料番号・………図書に保管してある図書の登録番号  
 ○図書コード・………図書に割り当てられている分類番号  
 ○請求記号(串ラベル)・………図書の背表紙のシールにある番号  
 ○状態・………貸し出し可能かどうか

図 書 資 料 検 索 結 果	
2016/8/5 青い森図書館	
《書 名》	平家物語
《ページ数》	420
《入分種》	9 (文学)
《資料番号》	69
《図書コード》	C329
《請求記号(串ラベル)》	13
《状 態》	貸し出しできます

- 5 次の文章を読んで、1～4に答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

【資料2】 配架図 (図書が置かれている場所を示す図)



- 1 【資料1】中 ①利用、②必ず について、品詞名を書きなさい。
- 2 【資料1】中 ③戻しておいて について、文の成分どうしの関係として最も適するものを次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 主語・述語の関係      イ 修飾・被修飾の関係  
 ウ 並立の関係              エ 補助の関係
- 3 『平家物語』の図書が置かれている場所として適切なのは、【資料2】のア～エから一つ選び、その記号と適な理由を書きなさい。

中国—3

中国—4

---



---



---

中国—5

一 本文中「<sup>㉑</sup>津波ははるか昔に起こられた」とありますが、この表現から読み取れる津波などの様子を適切なものを選び、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア ところちんがきんごに取り残されてしまったので悲しんでいる様子。
- イ ところちんが船を向けて急に走り出したので怒っている様子。
- ウ ところちんが船外の行動をとつたので驚いている様子。
- エ ところちんが船に負けないくらい速く走っているので感動している様子。

二 本文中「<sup>㉒</sup>船の上のり間に合つてほしいと」で使われている表現の工夫について適切なものを選び、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 比喩法    イ 倒置法    ウ 省略法    エ 反復法

三 本文中「<sup>㉓</sup>ところちんははじめてです」とありますが、あなただけの都合をどのように言説しますか。あなただけの考えを意識の工夫と工夫とその理由を、次の【添付】に従って書きなさい。

- 【添付】 1 【意識の工夫例】の書き方を参考に書くこと。
- 2 理由は、本文中の内容を踏まえて書くこと。
- 3 さらさら十五字以上二十五字以内で書くこと。

【意識の工夫例】

「早く早く、急ぎだ。」の都合として  
 工夫 叫びながら、意識を上げながら進む  
 理由 避難が出来るように、みんなをせかせいせするから。

四 本文中「<sup>㉔</sup>船ははるか昔に起こられた」とありますが、ところちんがどのような行動から逃げたのでしょうか。本文中の記号を踏まえて書きなさい。

中国—6

6 次の文章を読んで、一〇四に答えなさい。

調査時にはここに問題文が入る

中国—7

調査時にはここに問題文が入る

中国—8

一 本文中の  に当てはまる言葉を本文中から  を抜き出して書きなさい。

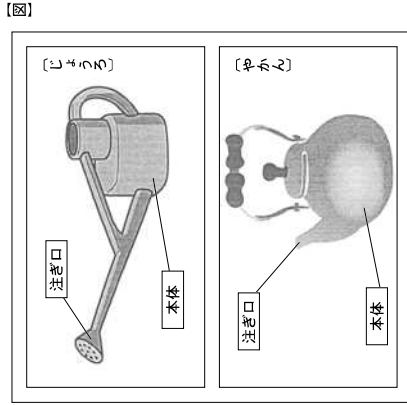
二 本文中  A  F のどれかに、「上の図を見てください。」の一文で、その機密に次の  図  が入りませう。 A  F から適切なるものを二つ選び、記号で書きなさい。

図

調査時にはここに  
図が入る

三 本文中「こうし」は「機械的な自由度の拡大」とありますが、「機械的な自由度」を「拡大」できたのはなぜですか。本文中の言葉を使って、三十字以上四十字以内で書きなさい。

四 この「説明的な文章」を学習した後、身近にある物を出発点ながら「機能と形」について考えることになりました。次の【図】は「じょうろ」と「やかん」の絵と部分の名称を示したものです。【図】を参考にして【表】を完成させなさい。



注ぎ口の機能と形について

	機能	形
【じょうろ】	①	体から離れた位置に注ぎ口があり、小さな柄がたぐらん空いている。
【やかん】	手に傾く間にある蓋をこじ、一度に傾かせることで、水やお湯を注ぐことができる。	②

中国—9

7 青い森中学校では、近くにある青い森小学校の6年生を招いて、「部活動見学会」を実施することになりました。そこで、各部の部活動紹介を掲載したパンフレットをつくり、事前に小学校の6年生に配布することになりました。【資料1～3】を読んで、あとの【問い】に答えなさい。

【資料1】生徒会から書かれた注意事項

各部活動の部長さんへ  
青い森中学生徒会  
部活動紹介についての注意事項  
①部員数や活動場所が分かるようにすること。  
②活動中の様子や目標にしていることを内容に入れること。  
③青い森小学校6年生が親しみやすいような内容を心がけること。  
※上の注意事項を必ず守ってください。

【資料2】部長のメモ

◎バスケットボール部  
・2年生八人、1年生十人の計十八人  
・顧問1年1組担任の竹田先生  
・練習場所は体育館  
・初心者も経験者も、一緒に練習している。  
・見学会では、初年頃も経験者でも一度体験してほしい。

【資料3】内容について他の部員に相談したときの会話



中国—10

【問い】 【資料1～3】の内容を調べ、バスケットボール部部長になったつもりで、パンフレットに掲載する部活動紹介の文章を書きなさい。なお、書き際には、次の【条件】に従って書きなさい。

【条件】

- 1 【資料1～3】で示されていることに従い、具体的に書くこと。
- 2 百五十字以上二百字以内で書くこと。(◆の印から書き始めること)